



耳が聞こえないって どんなこと？

～もしも当り前に聞いている言葉や音が聞こえなかったら・・・～
耳が不自由なことってどんな生活なんだろう。どうしたら話が通じるのかな？見てわからない障害です。「文字」を書いて、皆さんとやり取りをしながら楽しい時間を過ごします。

「文字でコミュニケーション」とは

途中で耳が聞こえなくなった人は、手話や口の形から読み取ることが出来ません。手話の分からない人には、文字で書いて伝えることができます。実践教室では、聞こえる皆さんも聞こえない私たちも「文字」でコミュニケーションを取ることを知っていただきます。

【授業で必要なもの】

学校別の対応で、打ち合わせをさせていただきます。

- ① OHC
- ② プロジェクター
- ③ スクリーン （学校で用意をお願いします）

学校にお願いしたいこと

社会福祉協議会所有の①②を前日に取りにきていただき、②③のセッティングをお願いします。①は、調整のためこちらでセッティングします。

【準備・片づけについて】

- ・他の講師より30分前に入室しOHC、スクリーンの調整をさせていただきます。
- ・終了後は、社協へOHC、プロジェクターの返却をお願いします。

【留意点】

耳が不自由な者が講師を務めます。話し言葉が伝わるのに時間がかかります。子どもさんの言葉にすぐに返事をしたり反応ができません。伝わるまでの様子を理解していただきながら進めさせていただきます。